

施策64

公共施設等の計画的な 管理と統合・廃止

施策の目指す姿

公共施設等^{*1}が計画的に管理され、施設の長寿命化と統廃合等の再編が進み、施設に係るコストが削減されています。

施策の現状

本市が保有する公共施設の7割以上が築30年以上経過しており、これらの施設を建替えや改修をしながら将来に渡って全て維持していくことは、財政的に不可能であることが、公共施設に係るコスト試算により明らかとなりました。

このため、施設の長寿命化を推進しライフサイクルコスト^{*2}の縮減を図るとともに、集約化や複合化等により、公共施設の総量を計画的に減らしていくことを基本方針とする公共施設等総合管理計画と、10年間の行動計画である公共施設再編計画と個別施設計画を策定しました。

施策の課題

- 公共施設の今後のあり方を見直し、必要な施設サービスを持続的に提供していくために、公共施設等総合管理計画、公共施設再編計画及び個別施設計画に基づく施設の計画的な管理の取り組みを実施していく必要があります。また、施設の改修や更新の優先順位を明確化するために、施設の点検や診断、修繕記録等の管理情報を一元化する仕組みが必要です。

※1 公共施設等とは

いわゆるハコモノ施設のほか、道路・橋りょう等の土木構造物、公営企業の施設、プラント系施設、未利用地等を含む。

※2 ライフサイクルコストとは

製品や構造物などの調達、製造、使用、廃棄までの各段階を通算した費用のことで、製品や構造物などを生涯と定義して、その全期間に要する費用を指す。

主なとりくみ

(1) 公共施設等の計画的な管理

- 法定点検に加え狭山市公共建築物点検マニュアルに基づく点検を実施し、点検結果や修繕等に関する履歴を一元的に管理するとともに、予防保全型の計画的な保全を行うことで、建物の健全な維持管理と長寿命化を推進し、ライフサイクルコストの縮減を図ります。
- 当面、利用が見込まれない未利用地については、売却、貸付などの適切な方法により有効活用します。

(2) 公共施設の計画的な統合・廃止

- 公共施設のあり方を見直し、機能を集約化することなどによって、公共施設の総量を削減しながら、必要なサービスを持続的に提供していきます。

施策の成果目標

項目	実績値	目標値
	令和元年度	令和7年度
公共施設等総合管理計画における機能集約等の再編事業による公共施設の床面積削減目標の達成率	1.4%	22.1%

市民・団体・事業者などに期待する協働による行動

- 身近な公共施設の管理運営に市民も携わりましょう。
- 公共施設を使っている人も、使っていない人もみんなで公共施設の管理と再編に関する議論に参加しましょう。

関連するSDGsのゴール

- ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- ゴール11 住み続けられるまちづくりを
- ゴール17 パートナリーシップで目標を達成しよう

